

水を持って水を制す! 臨床栄養に不可欠な脱水や水分貯留へのアプローチ

やさしく基礎から「水分管理」

事例 学習

疾患・病態を見極めた栄養サポート

どこに、どのくらい、どんな水(輸液)を選択する? 病態に合わせて根拠あるサポートを実践



実践経験豊富な講師から学ぶ3つのスキル

- ① 脱水・水分貯留のメカニズムと水分補正の考え方
- ② 体内の水分変化と適切な輸液の選択
- ③ 疾患・病態別の投与水分量の見極めと栄養サポートへの応用

佐藤亮介氏 函館五稜郭病院 栄養科長
川崎医療福祉大学 臨床栄養学科 非常勤講師

栄養サポートで著名な近森病院(高知県)で約10年の臨床経験を積み、臨床栄養部科長としても活躍。NSTや日々の栄養サポートを実践する傍ら、全国各地での講演や学会発表などを行う。2016年12月より現職となり、NST、栄養部門の業務改善に積極的に取り組んでいる。

プログラム

1. 今さら聞けない水分管理の第一歩

- 臨床における水分補給の重要性
- 体液の電解質組成

2. 「脱水」と「水分貯留」をしっかりと見極める

- 脱水の原因とサインを見つけよう
- 脱水するとどうなる? 引き起こされる病態をどう補正する?
高Na血症・低Na血症 / 高K血症・低K血症
高Ca血症・低Ca血症 / 高P血症・低P血症
*ただ過不足のあるものを補正すれば良いわけではない!

脱水

水分貯留

- 大事なキーワード(血圧・循環血液量・血漿浸透圧)
- 体液コントロールと塩分制限
- 血漿浸透圧をやさしく理解

3. 輸液を使った水分管理を考える

- 補水(欠乏輸液)と保水(維持輸液)
- 輸液の種類と使用する根拠
- 事例で考える! 水分の変化と輸液の選択

4. こんな疾患・病態の時にどんな水分管理をする?

- 疾患・病態別の投与水分量の基本設定
- 腎疾患~体液管理はできているか、体内水分貯留量を確認
- 心不全~下痢への対応、治療を考慮した管理
- 消化器疾患~消化器症状と経口補水液の活用

事例学習

札幌 19年11月2日(土) **道特会館**
[時間] 10:00~16:00 [2]

参加料 税込 一般 19,000円 会員 16,000円
※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数13人。

このセミナーの詳細はインターネットで検索!

日総研 14761

検索

関連雑誌

隔月刊誌(定期刊行物・会員制)

急性期から終末期までの、
多様な患者に個別性のある関わりを!

消化器看護

消化管・肝胆膵 疾患のケア

B5判 104頁
入会金 3,000円
年間購読料 17,280円(共に税込)
※開始号数により
価格は少しお安くなります。

2019年8・9月号

- 臨床判断からケア・指示薬の投与・ドクターコールまで
消化器疾患患者の疼痛・症状を緩和する
- 内視鏡業務や介助のポイント小ネタ集

次世代に、あなたの想いを残しませんか。

看護と介護に特化した
「自作の本」のお手伝いを始めました。

いつでも、どこでも日総研スタッフが、
イメージ&費用のお話をお伺いします。

第5回 接遇大賞

2019年日総研

優れたサービス
取り組みを表彰

応募は9月30日まで。事例発表会は3月予定。

取り組み事例の紹介記事はこちら

接遇大賞

検索

お問合せ
ご注文

TEL: 0120-054977

URL: www.nissoken.com

日総研

検索